

使用方法

2018年04月

VALUENEX
www.valuenex.com

概要

- 技術内容を表した文章または特許番号を入力していただくと、入力内容に類似した特許を収集します。特許同士の文書内容から計算した類似度に基づき、可視化した俯瞰図を生成します。出願人やキーワード等の情報も確認しつつ、収集した特許群の概観を素早く理解することが可能です。
- 簡易的な先行技術調査(一次スクリーニング等)、アイデア発想、アライアンス・顧客候補の探索等で活用していただいています。

数十秒～1分程度



①技術内容を表した文章

3次元形状データを利用した補聴器用シェル¹の製造方法において、最適なシェル形状決定を容易にすることができる造形用シェル形状データ作成方法を提供する。【解決手段】装用者の耳穴の形状を3次元計測して得られた耳穴形状データをコンピュータに取り込む。耳穴形状データを3次元形状処理ソフトウェア上で変形処理して補聴器用シェルの製造用形状データを作成する工程において、前もって、内蔵部品そのままの部品形状CADデータに部品と耳穴形状データとの間に必要な隙間分を付加した部品干渉確認用CADデータを作成しておき、シェル形状決定のためのシェル内部のシミュレーションに利用して、シェル形状データを作成する。

(最大52万文字入力可能)

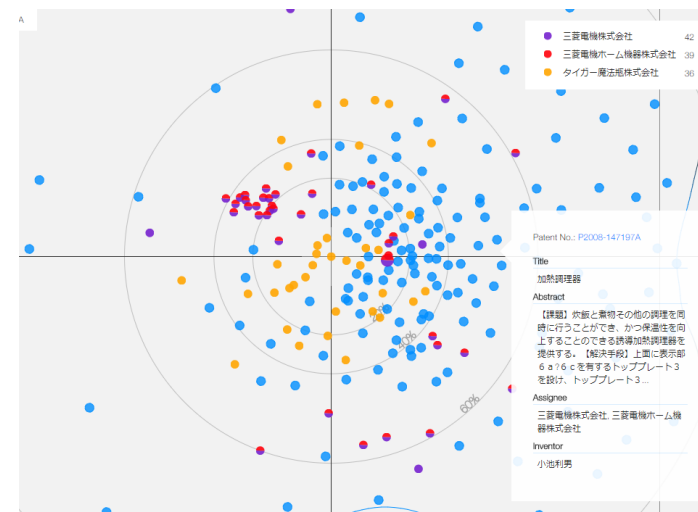
②特許番号

P × × × × - ○○○○○○A

(データベースより該当特許を検索し、全文を自動的に入力内容とする)

概念検索

(データベース収録特許文献全てに対して、全文と入力内容が類似するかを評価し、スコアが高いものから100件を収集する。日本公開の場合、公開年1993年以降、米国公開の場合、公開年2001年以降。)



検索方法:文章

技術内容を表した文章を記載ください。最大52万文字まで入力可能です。文章に含まれる単語の数が5個以下のときは、それらの単語のAND検索が実行されます。単語の数が6個以上のときは、概念検索が実行されます。

例1:

「二酸化炭素排出量を低減する」と入力した場合

「二酸化炭素」「排出量」「低減」の3つの単語すべてを含む特許が検索されます。

例2:

「水素を充填、貯蔵するための燃料電池自動車用圧力容器。水素の圧力に耐え、かつ、軽量化を実現するために、タンクの材料として繊維強化プラスチック(FRP)を用いる。」と入力した場合

自然文による概念検索が実行されます。

検索方法:特許番号(日本公開)

- VALUENEX表示番号形式

P××××-○○○○○■の形式となります。×は西暦、○は6桁の連番(左端の0は省略。例:001000→1000)、末尾の■は公報種別を表しており、Aは公開特許公報、Sは再公表特許公報、Tは公表特許公報を意味しています。

- 検索入力番号形式

検索する際、入力する番号形式例は下記の表通りです。また、複数の特許番号を入力することもできます(半角スペースで間を空ける)。

特許番号の入力例

公報種別	検索入力番号例	表示番号例(※)
公開	特開2008-3907	P2008-3907A
	特開平5-3907	P1993-3907A
公表	特表2001-521218	P2001-521218T
	特表平11-515029	P1999-515029T
再公表	再表04-27600	P2004-27600S
	再表98-12639	P1998-12639S
	WO04/27600	P2004-27600S
	WO2004/27600	P2004-27600S

※表示番号例でも検索可能です。

検索方法:特許番号(米国公開)

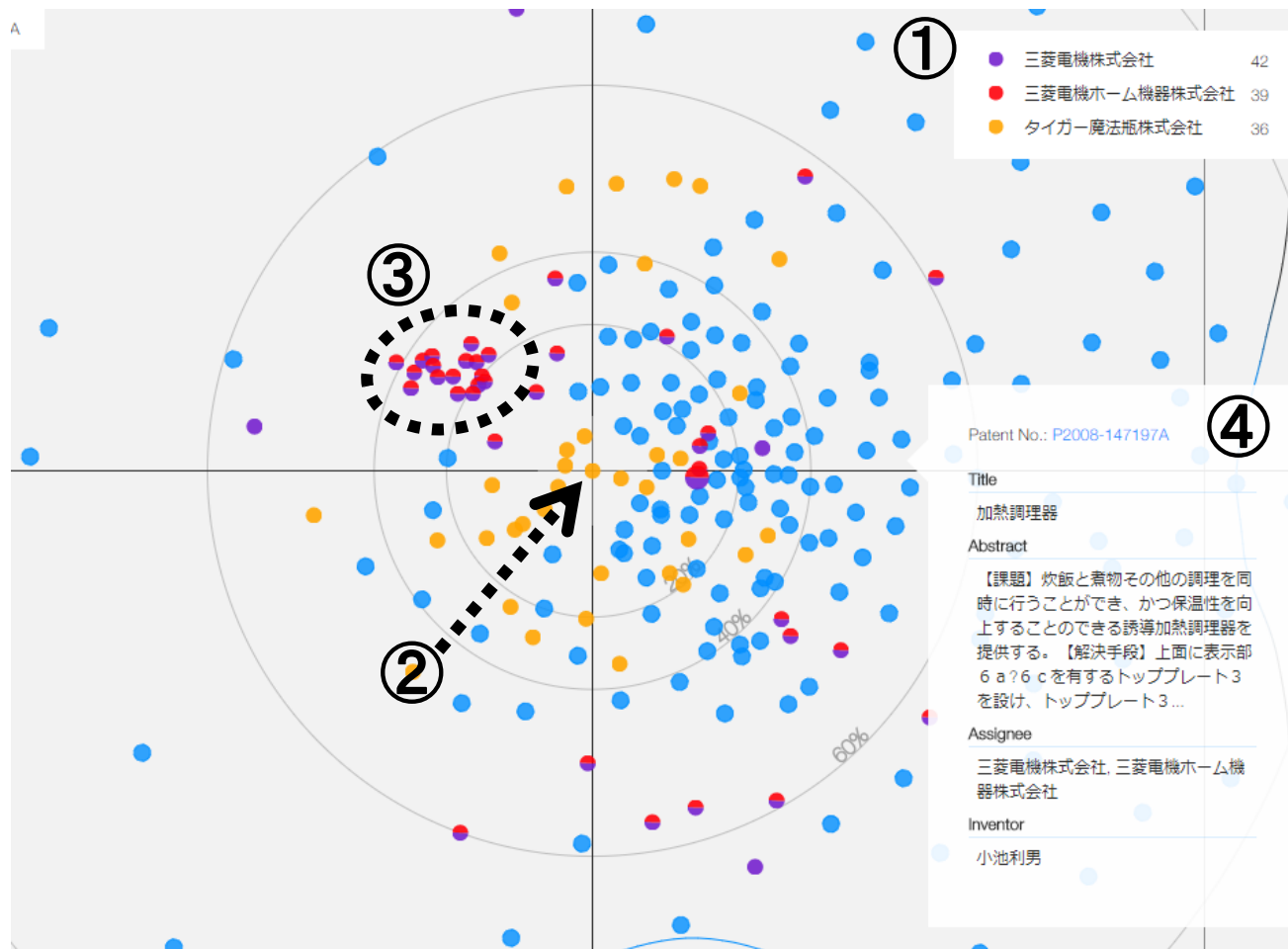
- VALUENEX表示番号形式
××××○○○○○○の形式となります。×は西暦、○は7桁の連番です。
- 検索入力番号形式
検索する際、入力する番号形式例は下記の表通りです。また、複数の特許番号を入力することもできます(半角スペースで間を空ける)。

特許番号の入力例

公報種別	検索入力番号例	表示番号例(※)
公開公報	US20020172845A1	20020172845

※表示番号例でも検索可能です。

可視化結果の見方

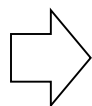


- ① 出願人別に色分け表示可能。
- ② 検索値と類似するほど中央付近にプロット。
- ③ 類似性が高い文献同士は密集配置。
- ④ クリックすると特許内容を表示。番号をクリックするとGoogle Patentsが表示 (Scope有償版ではVALUENEX保有の特許データベースにアクセスします)。

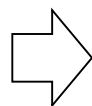
中心付近にプロットが少ない程、検索された技術は独自性が高い可能性がある。反対に、プロットが密集していると、開発が盛んであり、かつ、複数の会社が参加していると競合関係に注意する必要がある。

活用事例1: 技術シーズ探索と周辺技術の調査

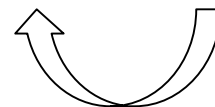
自社／他社の技術
シーズを検索



関心の高い技術シーズ
をピックアップ



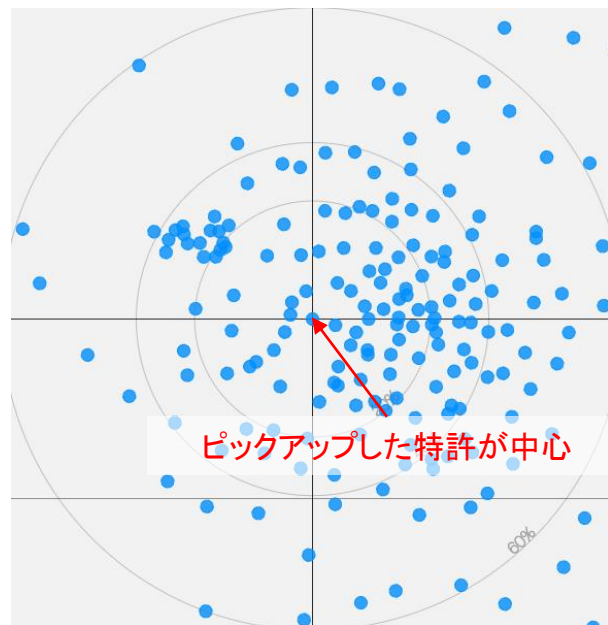
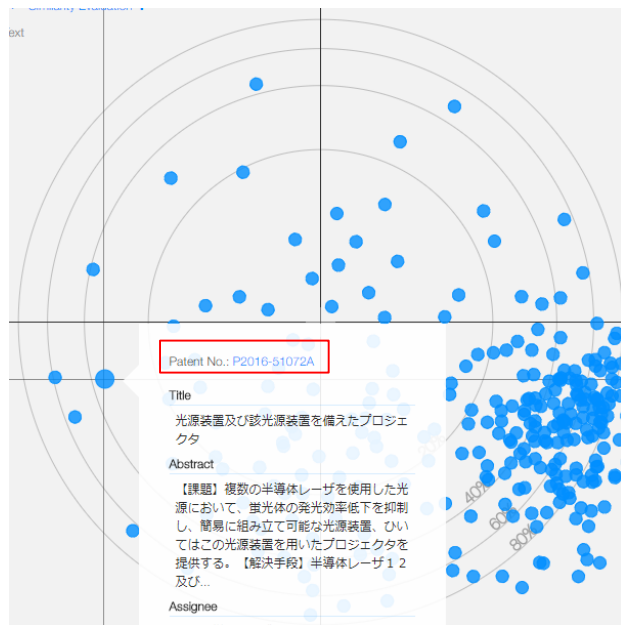
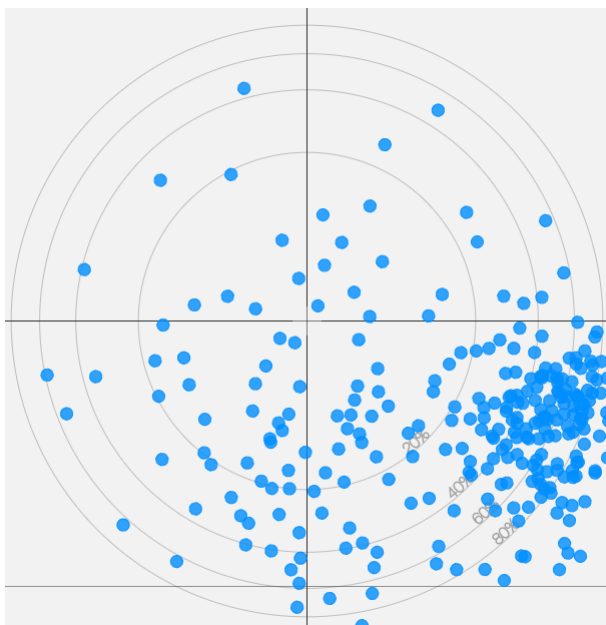
ピックアップした技術シーズ
の周辺技術を調査



繰り返して実施
(スパイラル調査)

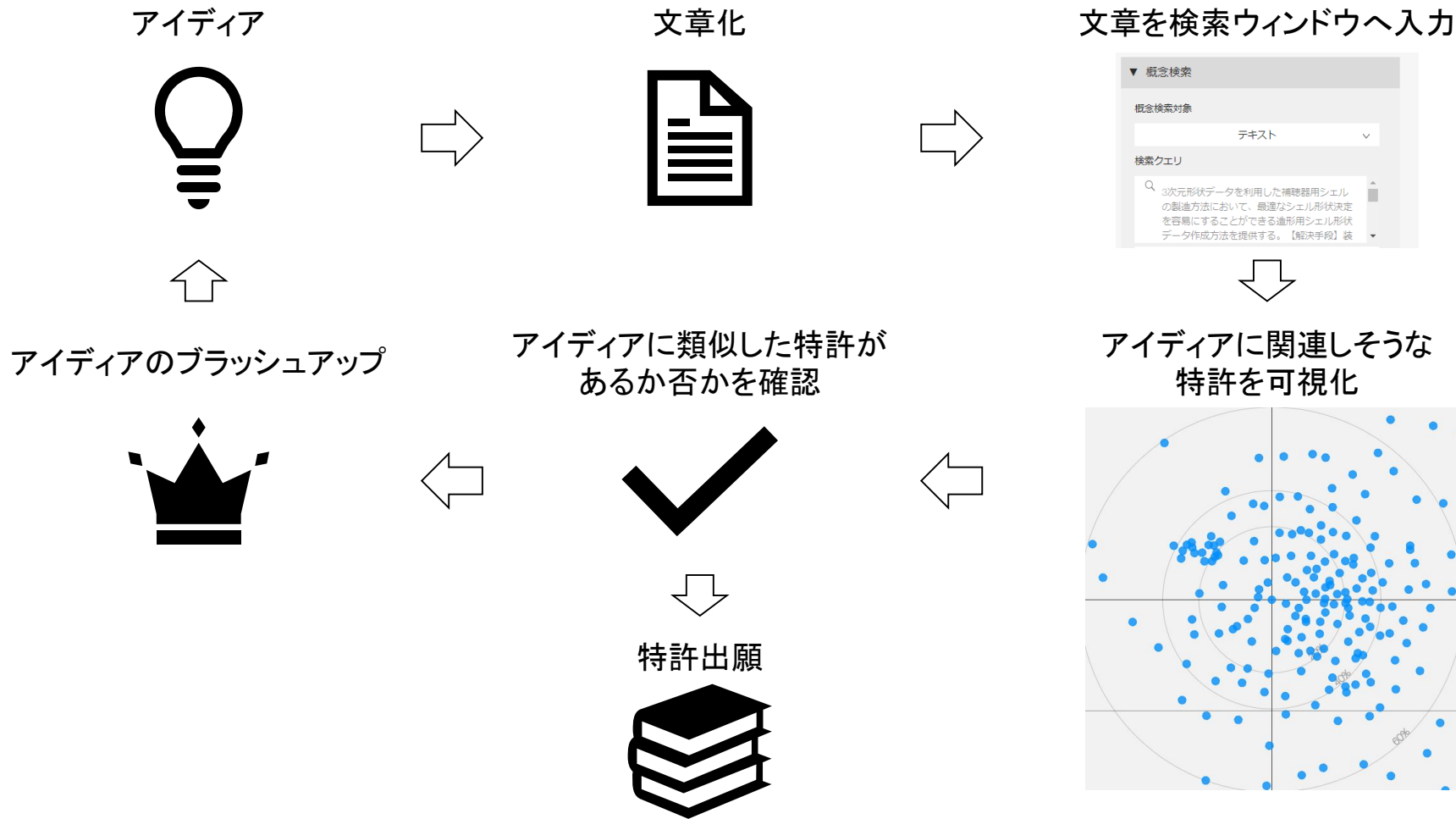
例: 「半導体レーザ」で概念検索し、出願人: 日亜化学で絞込み

関心の高い技術の特許番号で
再度概念検索を実施



活用事例2: 研究開発・知財部門における出願前調査

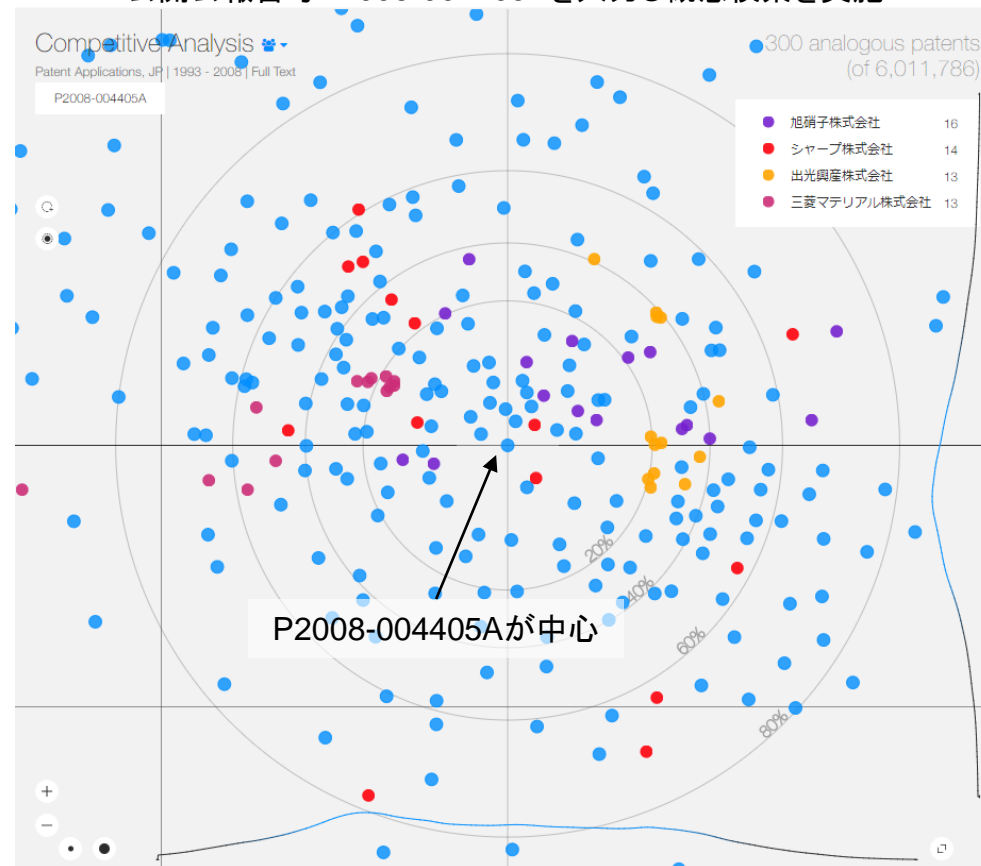
アイデアのブラッシュアップに活用。



活用事例3: アライアンス・顧客候補の探索

例: 産業技術総合研究所が開発したフラットパネルディスプレイ、太陽電池で使う「透明電極の形成方法」(特開2008-004405)

公開公報番号P2008-004405Aを入力し概念検索を実施



近い周辺特許や出願人リストから、アライアンス・顧客候補の仮説作りが可能である。

例: 出光興産、三菱マテリアルよりも、旭硝子、シャープの方が対象特許により近い技術開発をしている可能性がある。

お問い合わせ先

VALUENEX株式会社 カスタマーサービス
customer@valuenex.com

〒112-0006 東京都文京区小日向4-5-16 ツインヒルズ茗荷谷
www.valuenex.com